

## 2021年度（令和3年度）第4回常任幹事会 議事録

日時：令和3年12月3日（金）10:00～12:00

方式：CISCO Webex によるオンライン会議

## 参加者(敬称略)

石切山一彦、岩月聡史、大塚利行、岡本行広、糟野潤、北隅優希、久保拓也、小池亮、鈴木雅登、末吉健志、田中陽、中田靖、向井浩、村松康司、森田成昭、安川智之、山口英一、山本佐知雄

## 議題

## 0. 支部長挨拶

独占禁止法順守宣言の後、村松支部長の挨拶が行われた。

## 1. 前回常任幹事会議事録承認

末吉庶務幹事より前回の常任幹事会の議事録の確認が呼びかけられた。

## 2. 本部関係報告

村松支部長より、女性理事オブザーバーとして吉田由美氏が加わることが紹介された。また、本部の会員システムが国際文献社からアトラス社提供の提供へ変更となることが報告された。本部会計を昨年度と比較すると収入減より支出減のほうが若干大きく上半期の収支はほぼ横ばい、決算としては若干の黒字が予測されることが説明された。次年度の近畿支部の支部費は156万円程度となること、支部推薦の代議員が承認されたことが報告された。年会の余剰金のうち33%が近畿支部に配分されるという内規が説明された。

今後の年会・討論会において、2024年の討論会は近畿支部が担当すること、ICAS、アジア分析化学シンポジウムは当面開催を見送ることが説明された。ぶんせき誌が電子化されること、ぶんせき誌と分析化学誌のシステムを統合すること、X-ray Structure Analysis Online 誌は廃止すること、Analytical Sciences 誌はSpringer Nature に出版委託することが説明された。

## 3. 2021年度支部事業中間報告

末吉庶務幹事より2021年度開催予定の支部事業における中間報告がなされた。

## (1) ぶんせき講習会

本年度及び来年度のぶんせき講習会の体制および本年度の実施報告(基礎編その1

と発展編をオンライン実施、基礎編その2と実践編は中止)および中間決算報告、次年度の実施計画および予算案が岩月次期講習会委員長によって紹介された。

## (2) 支部講演会 WG

支部講演会について本年度の実施状況及び今後の開催予定について来年度の第1回支部講演会の講師が決まったことが向井委員によって紹介された

## (3) 提案公募型セミナーWG

提案公募型セミナーについて本年度はまだ申し込みがないこと末吉庶務幹事により紹介された。

## (4) ホームページ&ニュース WG

田中委員によってホームページの更新状況およびぶんきんニュース 51号が発行されたことが紹介された。また発行予定の52号の内容についての説明がなされた

## (5) 第15回近畿支部夏季セミナー

岡本委員によって第15回の開催報告がなされた。詳細はぶんきんニュースに掲載されていることが紹介された。また、久保次期実行委員長より、来年度は京都の島津製作所にて開催予定であり、講演、ポスター発表のほかに島津製作所の工場見学を予定していることが説明された。

## 4. 2021年度近畿分析技術研究奨励賞選考結果報告

審議結果が末吉庶務幹事によって代読された。また、受賞した鈴木氏の挨拶がなされた。

## 5. 2021年支部会計中間報告

小池会計幹事によって現時点での本年度会計の中間報告がなされ、収入および支出における予算との乖離が大きい項目の説明がなされた。また、年度の収支として110万円程度の黒字が見込まれることが説明された。

## 6. 2022年度支部役員体制

来年度の支部役員体制が村松支部長によって紹介された。近分懇会長は現在企業内で調整中であることが説明された。

## 7. 2022年度支部事業計画案

北隅庶務幹事より基本的に例年通りとした来年度の支部事業計画が説明された。

## 8. 2022年度予算案

糟野会計幹事より、事業の大半が対面開催になることを想定した予算案が組まれていることが説明された。また、夏季セミナーは島津製作所からの補助金が予定されているため、例年より枠が大きいことが説明された。

## 9. 第70年会報告

大塚実行委員長より第70年会が講演件数486件、参加登録数818名であったという報告がなされた。報告の詳細はぶんせき誌12月号およびぶんきんニュースに掲載されていることが説明された。また、余剰金は393万円程度であり、その33%が支部に配分されることが説明された。

## 10. その他

### (1) 合同事務局運営員会報告

村松支部長より各学協会での分担比率は例年通りであること、また、事務局にコロナ禍が終結したら正職員を一人増やしたいという意向があることが説明された。

### (2) 代議員候補推薦について

推薦は理事でない安川副支部長の名前で送付したことが末吉庶務幹事より説明された。また、被推薦者よりすでに退職している人間が推薦されるシステムはどうかという声が上がったので、検討したい。という問題提起がなされた。

北隅庶務幹事より、現役がやった方が健全ではないかという意見が挙げられた。

末吉庶務幹事より、意見しづらい場なので支部に貢献してくれた実績があつて本部にものを言える人が良いのではないかという意見が挙げられていることが説明された。

### (3) 2022年度学会賞等各賞候補者推薦の件

推薦委員会における候補者が決定し、その結果を本人に連絡している旨が末吉庶務幹事より報告された。また、推薦数が少ないため推薦様式のフォーマットを改良したい旨が提案された。

### (4) 共催・協賛など

末吉庶務幹事より大阪工研協会より第45回分析展と講演・技術発表会の協賛依頼が届いていることが説明された。

### (5) その他

理研にて雇用上限が設定されそうだという話題が紹介された。

以上